キャリアパスポートの活用について

キャリア教育では，生徒自身が，立場に立った経験の中で変わってきた自分の「能力」や「価値観」を感じることが大切です。

そのため，様々な活動の場面で，自分の変容を振り返るための記録が必要です。これまでも行事や活動の事後指導としてワークシート等を記してきましたが，キャリア発達の一貫した観点で,「経験の積み重ね」を見取ることができるようにすることが求められます。

本校では，生徒が大切にしている行事（価値付けのある活動）や課題解決を行っていく活動（問題意識のある活動）をキャリア発達の手段として取り扱っています。それらの活動の記録をポートフォリオ形式でファイリングし，累積した記録を比較することで，見方や考え方の変化を生徒が自覚し，共感力，思考力，段取力，対応力等の伸長によって，自己肯定感を高めさせていきたいと考えています。

また，ポートフォリオ形式でファイリングされた「キャリアパスポート」を活動ごと，学期ごと，学年ごとに振り返り，客観的な評価につなげていきます。

＜本校でのキャリア教育で伸ばしたい資質・能力＞

① 共感力

（他者の立場に立って，相手の心情や考え方を感じることができる能力）

② 思考力

（課題や状況を把握し，要因を分析し，解決の手段・方法を吟味する能力）

③ 段取力

（スケジュールを把握し，優先順位，人員の配置・分担を判断する能力）

④ 対応力

（取組を円滑に進めるためのコミュニケーション能力【物言い】や
状況に応じて段取りを変更・調整する能力）